

臨時環境調査結果のお知らせ

平成27年4月9日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の臨時環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は15.2～17.8℃で、前回調査時(H27.3.30)と比較して表層で0.4℃低下し、2m層で0.7℃上昇していました。塩分は13.8～30.2で、前回調査時と比較して表層で3.1上昇し、1m層と2m層で2.4～3.4低下していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.7～7.5mg/lで、前回調査時と比較して全層で1.5～5.9mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.4mでした。

検鏡の結果、有害種のミリオネクターブルプラが最高で3cells/ml確認されました。

前回、前々回で確認されたヘテロカプサ・サーキュラリスカーマに似た渦鞭毛藻は、今回は確認されませんでした。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.30)	
			差(今回-前回)
0m	15.2	15.6	▲ 0.4
1m	17.0	17.0	▲ 0.0
2m	17.8	17.1	0.7
B-1	17.8		

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.30)	
			差(今回-前回)
0m	13.8	10.7	3.1
1m	20.8	24.2	▲ 3.4
2m	29.9	32.4	▲ 2.4
B-1	30.2		

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.3.30)	
			差(今回-前回)
0m	7.5	9.9	▲ 2.4
1m	6.4	12.3	▲ 5.9
2m	5.7	7.2	▲ 1.5
B-1	5.7		

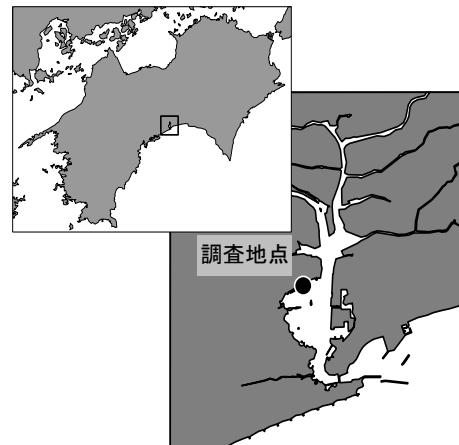


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.3	3.0
透明度	2.4	2.7

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ類似種	ミリオネクターブルプラ	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	3	1	1,600
1	0	1	2	3,200
2	0	1	1	1,500

漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ(貝類のへい死): 1,000cells/ml
- ・ミリオネクターブルプラ: 10cells/ml(貝類の赤変化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>